

# 機能

## 後方死角車両お知らせ機能

隣接する車線の後方に他の車両がいることを検知して警報で知らせ、車線を変更するときの操作負担を軽減するシステムです。

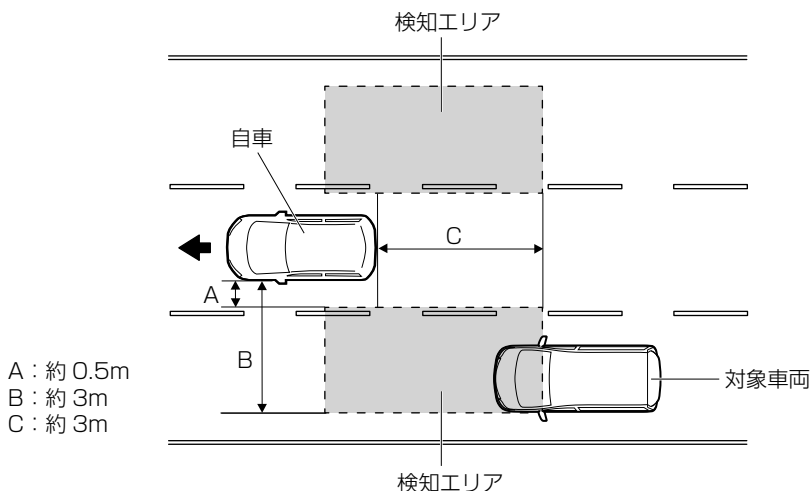
### 警告

「後方死角車両お知らせ機能」システムは、衝突を防止するシステムではありません。周囲の環境や状況により検知できない場合があるため、車線を変更するときは、必ず目視で周囲の安全を確認してください。周囲の安全を確認せずに車線変更をすると思わぬ事故につながります。

### ■ システムの作動条件

約 30km/h 以上で前進走行しているときに、対象車両が検知エリアに入るとシステムが作動して警報ランプが点灯します。

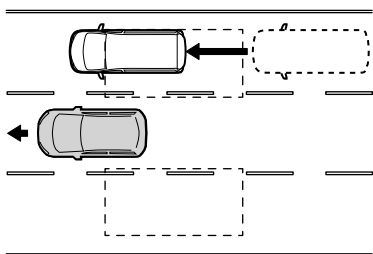
対象車両が検知エリア内に存在し続ける場合、検知された対象車両の方向へ方向指示器スイッチを操作すると、初回だけブザー音が鳴ります。方向指示器スイッチを解除するとブザー音は止まりますが、警報ランプ表示は点灯したままです。警報ランプ表示は対象車両が検知エリアから離れるまで続きます。



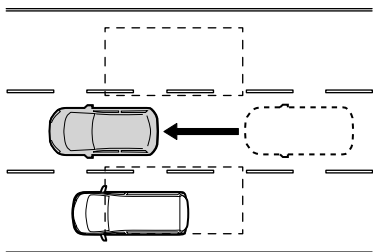
## お知らせ

● 下記のようなときは、「後方死角車両お知らせ機能」システムが正しく作動しないことがあります。

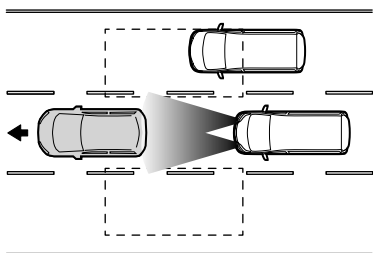
- 対象車両が自車よりも極端に速い速度で接近してきたとき



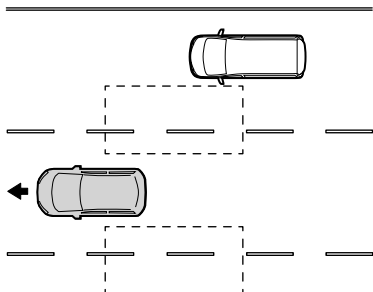
- 自車が隣接する車両を約 10km/h 以上の速度差で追い越したとき



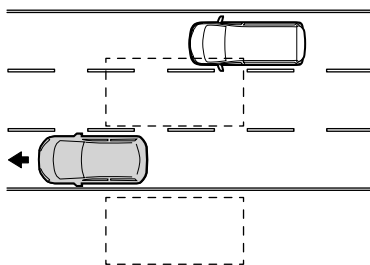
- 周囲が暗すぎる、周囲の明るさが急変した、または強い光を受けているとき



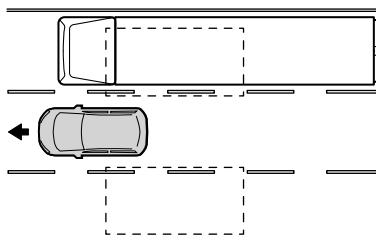
- 車線幅が極端に広い道路を走行しているとき



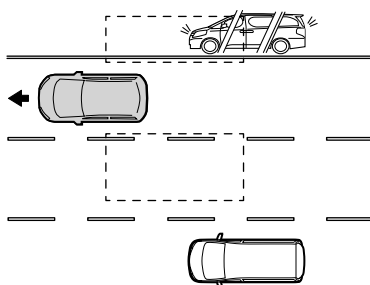
- 車線幅が極端に狭い道路を走行しているとき (2つ隣の車線を走行している車両を検知することがあります)



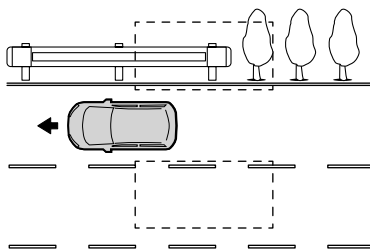
- 対象車両が、トレーラーなどのように車高が高い、または全長が長い車両のとき



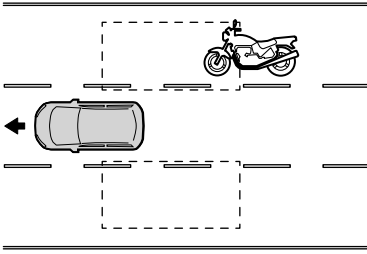
- 壁やトンネルに反射した車両像を対象車両と間違えて検知したとき



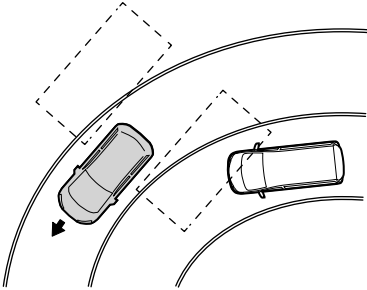
- 路側の設置物 (ガードレール、電柱、木、建物、壁など) または駐車車両を検知したとき



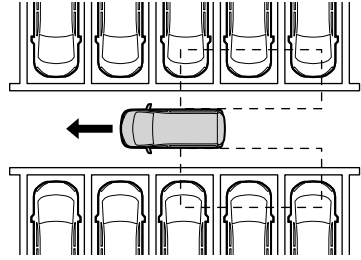
- バイクなどの小型の車両が検知エリアに入ったとき



- 交差点での右左折、またはカーブした道路などを走行したとき



- 車が密集している駐車場を 30km/h 以上で前進したとき



- 背景の色、模様、周囲の明るさなどが影響し、接近する車両を認識できないとき
- 検知エリアに対象車両が 2 秒以上いないとき
- 他の車両が隣接する車線よりさらに外側から接近してきたとき
- リアバンパーおよびカメラ周辺が、破損または変形しているとき
- 悪天候（雨、雪、霧など）のとき
- 旋回での走行、路面の凹凸、坂道、重い荷物の積み込み、指定空気圧にタイヤが調節されていないなど、車両が傾いてしまうとき
- テールゲートまたはトランクが開いているとき
- リアカメラに荷重がかかるなど、正しい位置から傾いてしまったとき

## 警報

- 「後方死角車両お知らせ機能」システムの警報は、警報ランプとブザー音でお知らせします。接近車両を検知すると「Level1 警報」が作動し、接近車両がある方向の警報ランプが点灯します。ブザー音は鳴りません。「Level1 警報」が作動しているときに、警報ランプが点灯している方向へ方向指示器スイッチを操作すると「Level2 警報」が作動します。警報ランプは点灯したまま、ブザー音でお知らせします。

検知車両の方向	Level1 警報			Level2 警報		
	警報ランプ表示		ブザー音	警報ランプ表示		ブザー音
	左	右		左	右	
右側	消灯	点灯	なし	消灯	点灯	あり
左側	点灯	消灯	なし	点灯	消灯	あり
両側	点灯	点灯	なし	点灯	点灯	あり

Level1 警報：警報ランプ表示だけでお知らせします。

Level2 警報：警報ランプ表示とブザー音でお知らせします。